

夏の癒やし☆

55発の花火

糸満・南山病院

【糸満】病院利用者や療養者、地域住民とともに癒やしの時間を共有しようと南山病院（糸満市賀数）で16日、花火大会が行われた。

2分間に55発の花火が打ち上げられ、参加者はきらめく花火に歓声を上げ楽しんだ。

南山病院では、1984年の開設当初から、地域との交流のため「盆踊りの夕べ」が行われていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から「花火大会」に変更し、今年で3年目となる。

実行委員長の照屋晋さんは「外に出られない方も多いため、せめて花火で心を癒やしてもらえたら。昨年も反響が良く、地域の方からも喜んでもらっている」と話した。

（川崎紋通信員）

花火を楽しむ利用者ら16日、南山病院駐車場

